

弊社ホームページをご覧の皆様

2020年2月26日

いつも弊社のホームページをご覧くださりありがとうございます。

HPのソフトの不具合で、久しぶりの更新となります。

今、世間で起きているコロナウィルスの問題について、よろしければ一読ください。

近年、自然災害、天変地異が頻繁に発生しています。

私は昭和生まれですが、平成の時代から急激に自然災害が多く発生し、尊い命が失われました。長崎の雲仙普賢岳の噴火、阪神淡路大震災、そして弊社が企画として行っている東日本大震災など。

私が調査した限りでは、1993年まで地球上で数えられるほどの深発地震が、同年を境に地球上で頻発しております。

昨年7月下旬、三重県南東沖が震源地で、最大震度を観測したのが宮城県。

皆様も報道でご存じかと思います。

また、昨年すでに情報として得ておりましたが、以下の現象が起きていました。

熊本でブリが赤潮で大量死。

愛媛、三重でアコヤガイが大量死

秋刀魚の不漁

北極点が50キロ以上ずれている。

光合成をやめた植物がある。

など。

昨年末に、コロナウィルスが発生していたことは報道でご存じかと思います。

コロナウィルスで肺炎を発症したと報じられたのは、年明けしてしばらく経ってからのことでした。

遡れば、MARS、SARS、2009年に発生した新型インフルエンザ。

1918年に人類ではじめて発生し、パンデミックを起こしたスペイン風邪。

今、いろいろなことが報道されておりますが、何が真実なのか今一つわかりません。

私は専門家ではありませんが、ゲノム配列などの情報を見ると、いろいろ疑問を感じるがあります。

日本政府の対応に批判をしている方もおります。批判することは簡単です。

では、どうしたらいいのか？これからどうするべきなのか？

そのような案を示している方をほとんど見かけません。

私のなかで一つ着目していることがあります。

MARS、SARS、2009年に発生した新型インフルエンザについて、日本も含め、世界で多くの尊い命が失われました。そして、日本における致死率ですが、世界各国の中で異常に低いデータがあります。

これがなぜなのか？

これは私の個人的な考えですが、日本の発酵食品が大きく関係しているのではないかと。日本は世界の中でも稀にみる発酵食品大国です。

それは皆様もご存じかと思います。

発酵食品は免疫力を高め、感染予防効果があることはご存じかと思います。

その発酵食品の中で、特に栄養価が高く、免疫効果がある発酵食品。

納豆です。

多くの日本人は、美味しく食べておりますが、海外では、あのネバネバ感、臭いが苦手な方も多く、あまり好まれません。もちろん、納豆が好きな外国人もおります。

納豆という言葉は、平安時代にはすでに使われておりました。

しかし、納豆がいつから日本で食べられたのか、私が調べてもわかりませんでした。

弥生時代という説もあれば、縄文時代という説もあります。

最近では、サプリメントなどでナットウキナーゼなども販売されていますが、

納豆に含まれる納豆菌が免疫力を高めることは間違いありません。

感染を回避するための対策も大切です。それは専門家も含め、いろいろ議論されているでしょう。それと同時に、免疫力を高めることも考える必要性も大切です。

消毒、うがい、マスクも大切です。

そして、バランスある食事で免疫力を高めること、これが重要です。

私が調べた情報では、妊娠した妊婦が毎日納豆を食べていると、産まれた子供はO157ウィルスに感染しにくい体質になるというデータもあります。

どうか、皆様冷静に対処し、健康維持も含め、バランスある食生活、発酵食品を食べるよう心掛けてください。発酵食品は食品ですので、副作用がありません。

コロナウィルスに感染し、回復しても体内に抗体が作られないのでは、という報道もあります。もしくは回復しても完全にウィルスが体外に排出されないという報道もあります。

薬が開発されるまで、少し時間がかかると思います。
少しでも感染者が出ないよう、祈るばかりです。

私自身、また弊社ではSNSによる情報発信はしておりませんが。
SNSをやられている方が、情報の拡散希望などと言っている方がおります。
拡散商法。
そして炎上商法。
そうしたら、コロナウィルスが世界に拡散しはじめ、アマゾンやオーストラリアでは森林火災。

日本語には言霊が宿ることをお忘れではないでしょうか。
見事な皮肉としか言いようがありません。

良い言葉を口にして、良い言葉を聞く、読む。良いものを見て、体に良いものを食べる。
そうすると良いことがたくさん起きます。

今地球上で起きていることは、人類が生み出していることでもあります。
史上最速のペースで動植物が絶滅している。
疫病、天変地異、自然災害の発生。

古くから日本人は、疫病、天変地異、自然災害が起きると、祟りであると考えてきました。
現代では、祟りという言葉は使われず、科学で解明しようとしています。

知の巨人である上智大学名誉教授だった故渡部昇一先生はある本の中でこう言っています。

科学の究極はオカルトである。
オカルトとは、神秘的で未知なるもの。つまり科学では解明できないと。

古来、日本人は、自然を大切にして、自然と共生して生き、自然の原理原則を大切にしてきました。

日本人として、森羅万象の極限まで知を深めた先人、南方熊楠先生が現代の状況をみたら、何というのでしょうか？

現在と未来ばかり見ている人が多い気がします。

ぜひ、歴史に今一度向き合い、日本人とは何か、日本とは何か、考えるのもいいかもしれません。

温故知新という言葉もあります。

そして、今の社会が本来の日本の姿なのか、これからの日本のあるべき姿、社会の形成を今一度考える必要があると思っています。

質問などがございましたら、弊社HPの問い合わせよりお願いいたします。

株式会社ヒロエンタープライズ

代表 谷代 浩